

令和4年度 部活動の地域移行のあり方検討委員会

日時 令和4年12月15日(木)15:00～

場所 神戸市産業振興センター会議室(801)

議 事 次 第

1 開 会

委員長あいさつ

2 協議・説明事項

(1) 第1回ワーキンググループ 議事内容報告

(2) 協議内容

① 「実態調査(アンケート)項目の検討」

② 「持続可能な部活動のあり方」

・ 拠点校部活動の課題と今後のあり方

・ 平日部活動と移行後の休日活動との連携、調整のあり方

(3)意見交換

(4)その他

3 事務連絡

4 閉 会

目 次

・部活動の地域移行のあり方検討委員会	開催要綱	P 1
・部活動の地域移行のあり方検討委員会	傍聴要綱	P 2
・部活動の地域移行のあり方検討委員会	委員名簿	P 3
・部活動の地域移行のあり方検討委員会	年間スケジュール	P 4

部活動の地域移行のあり方検討委員会開催要綱

令和4年11月9日
教育長決定

(趣旨)

第1条 本市におけるこれまでの部活動の取組を検証するとともに、今後の部活動の地域移行のあり方について検討するため、部活動の地域移行のあり方検討委員会(以下「検討委員会」という。)を開催する。

(委員)

第2条 検討委員会の委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
 - (2) 前号に掲げる者のほか、教育長が特に必要があると認める者
- 2 委嘱する委員の人数は、20名以内とする。
- 3 前項の規定に関わらず、特別の事項を検討する必要がある場合、教育長は、臨時の委員を委嘱することができる。

(委嘱期間)

- 第3条 委員の委嘱期間は、委嘱の日から1年以内とする。
- 2 補欠の委員の委嘱期間は、前任者の残任期間とする。
- 3 臨時の委員は、その者の委嘱に係る当該特別の事項に関する検討が終了したときは、解嘱されるものとする。

(委員長及び副委員長の指名)

- 第4条 教育長は、委員の中から委員長及び副委員長を指名する。
- 2 委員長は、検討委員会の進行をつかさどる。
- 3 副委員長は、委員長に事故があるときは、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(検討委員会の公開)

- 第5条 検討委員会は、これを公開とする。ただし、次のいずれかに該当する場合で、教育長が公開しないと決めたときは、この限りでない。
- (1) 神戸市情報公開条例(平成13年神戸市条例第29条)第10条各号に該当すると認められる情報について意見交換を行う場合
 - (2) 検討委員会を公開することにより公正かつ円滑な検討委員会の進行が著しく損なわれると認められる場合
- 2 検討委員会の傍聴については、教育長が別に定める。

(施行細目の委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の開催に必要な事項は、児童生徒担当部長が定める。

附 則(令和4年11月9日決裁)

この要綱は、令和4年11月10日より施行する。

部活動の地域移行のあり方検討委員会傍聴要綱

令和4年 11 月9日
教育長 決定

(趣旨)

第1条 この要綱は、部活動の地域移行のあり方検討委員会開催要綱(令和4年 11 月9日決定)第5条第2項の規定に基づき、部活動の地域移行のあり方検討委員会の傍聴に関し必要な事項を定める。

(傍聴席の区分)

第2条 会場に傍聴席を設けるものとし、傍聴席は、一般席及び記者席に分ける。

(傍聴の手續)

第3条 会議を傍聴しようとする者は、傍聴章の交付を受け、着用しなければならない。

(傍聴章)

第4条 傍聴章は、会議当日所定の時間及び場所で、傍聴受付票に名前及び連絡先を記入することにより交付する。

2 所定の時間において第6条に定める定員を超えた場合は、傍聴受付票に記入した者の中から抽選を行い、傍聴章を交付する。

3 傍聴章の交付を受けた者は、交付を受けた日に限り、一般席で傍聴することができる。

(傍聴章の返還)

第5条 傍聴章の交付を受けた者は、傍聴を終え、退場しようとするときは傍聴章を返還しなければならない。

(傍聴人の定員)

第6条 一般席の傍聴人の定員は 20 人とする。ただし、委員長が特に決める場合は、この限りではない。

(傍聴席に入ることができない者)

第7条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 会議の妨害となると認められる器物等を携帯している者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるものを持っている者

(傍聴人の守るべき事項)

第8条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、次の事項を守らなければならない。

- (1) 会議における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 騒ぎ立てないこと。
- (3) 飲食又は喫煙を行わないこと。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、会議の秩序を乱し、又は妨害となるような行為をしないこと。

(撮影及び録音等の禁止)

第9条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に教育委員会事務局児童生徒担当部長の許可を得た者は、この限りではない。

(傍聴人の退場)

第10条 傍聴人は、会議を非公開とする決定があったときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第11条 傍聴人は、すべて事務局職員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第12条 傍聴人がこの要綱に違反するときは、委員長は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

附 則(令和4年 11 月9日決裁)

この要綱は、令和4年 11 月 10 日より施行する。

(参考1)傍聴章

(参考2)傍聴受付票

部活動の地域移行のあり方検討委員会
傍 聴 章
No. _____

傍 聴 受 付 票(No. _____)	
【会議名】第 回 部活動の地域移行のあり方検討委員会	
【開催日】令和 年 月 日()	
名 前	連 絡 先

部活動の地域移行のあり方検討委員会 委員名簿

※敬称略 順不同

氏 名	役 職 等
あさ い ひろ ゆき 浅井 浩之	神戸市吹奏楽連盟 理事長
いし づか だい すけ 石塚 大輔	スポーツデータバンク(株) 代表取締役社長
お さか み ほ 小坂 美保	神戸女学院大学 体育研究室 准教授
さい どう かつ ひろ 齋藤 勝洋	神戸市立中学校 PTA 連合会 会長
す どう こう じ 須藤 晃司	神戸市民文化振興財団 常務理事
なか た すすむ 中田 進	神戸総合型地域スポーツクラブ 全市連絡協議会 会長
ふる た たかし 古田 隆	神戸市スポーツ協会 常務理事
もり た ひろ ゆき 森田 啓之	兵庫教育大学大学院 生活・健康・情報系教育コース(保健体育) 教授
ほし てる ゆき 星 輝幸	神戸市立太山寺中学校長
あかまつ み な こ 赤松 三菜子	神戸市立高倉中学校長

令和4年度 部活動の地域移行のあり方検討委員会(第2回) 開催要項

1 趣 旨

本市におけるこれまでの部活動の取組を検証するとともに、今後の部活動の地域移行のあり方について検討するため、部活動の地域移行のあり方検討委員会を開催する。

2 日 時 令和4年12月15日(木) 15:00～17:00

3 場 所 神戸市産業振興センター8階 会議室(801)

4 委 員 別紙委員名簿参照

5 内 容

(1)開 会

(2)委員長あいさつ

(3)内 容

① 検討事項の確認

② 第1回ワーキンググループ 議事内容報告

③ 協議内容

「実態調査(アンケート)項目の検討」

「持続可能な部活動のあり方」

・ 拠点校部活動の課題と今後のあり方

・ 平日部活動と移行後の休日活動との連携、調整のあり方

(4)事務連絡

(5)閉 会

今 後 の 予 定

日程(令和4年度)	主な内容	備 考
11月10日(木) 10:00~12:00	第1回 検討委員会 ① 本市の現状 ② 今後の検討の進め方	神戸市総合教育センター 701 会議室
12月15日(木) 15:00~17:00	第2回 検討委員会 ① 実態調査(アンケート)項目の検討 ② 持続可能な部活動のあり方 ・拠点校部活動の課題と今後のあり方 ・平日部活動と移行後の休日活動との 連携、調整のあり方	神戸市産業振興センター 会議室(801) 特別会議室(601)
2月6日(月) 15:00~17:00	第3回 検討委員会 ① 実態調査(アンケート)結果に基づく、 受け皿・指導者確保のあり方 及び 経済的負担のあり方の検討 ② 実態調査(アンケート)項目の検討	神戸市総合教育センター 701 会議室
3月3日(金) 15:00~17:00	第4回 検討委員会 ① R4 の検討事項の総括 ② R5 以降の検討課題の集約	神戸市総合教育センター 701 会議室

平日部活動と移行後の休日活動との連携、調整のあり方

1. 令和3年度実践研究における課題から

(1) 参加生徒の意見

- ・平日と休日の指導者が違うとアドバイスや指示が違うことがあり、平日と休日の指導者は同じが良いと思った。
- ・平日と土日で指導者を分けるのはやめてほしいと思った。
- ・平日の部活動でも休日の活動と同じようなメニューの方が効率が良いと思った。

(2) 保護者の意見

- ・平日の顧問の先生とは、またメニューや経験者の方の指導が受けられて刺激になった。
- ・平日と休日の指導者では指導の方向性が違いすぎて、子どもが戸惑っていた。
- ・平日、休日の指導者が異なるのであれば、それぞれの指導者同士のコミュニケーションも望む。上手く行かなければ、子供達に戸惑いや不信感が現れるかと思う。

(3) 顧問教員の意見

- ・生徒間のもめ事があった時の共有等も含め、引継ぎが難しかった。
- ・試合なども指導者としての立場ではなく、監督などの指示が出せる立場で入ってもらえるとありがたい。(コーチ登録していなかったため、試合の際に指導できなかった。)
- ・休日活動を事業者にした場合でも、完全に学校教員から切り離されたわけではない。(事務処理やリーフラス株式会社との連絡など)完全に切り離しをして、初めて働き方改革に繋がると考えている。
- ・指導員との細かい情報交換は難しい部分があった。
- ・公式試合の監督も任せる形となると、平日の練習もすべての日は難しくともお願いしたい。指導員が付けない時だけ、教員が怪我やトラブルを防止するためだけ、見守る形を経て、部活動は場所提供のみにして、教員はノータッチにしていくのがいいと思う。

2. 連携・調整の必要性と内容

(1) 必要性

地域クラブ活動への移行については、当面の間、休日の活動を段階的に移行することになる必要があるため、平日の活動は学校部活動として活動することになる。

(2) 情報共有する内容

- ・出欠状況
- ・練習内容(メニュー)とアドバイス内容
- ・参加した生徒の状況(どのような内容まで必要か)
- ・平日練習に関する内容

(3) 保護者との連絡ツールの必要性

拠点校部活動の課題と今後のあり方

1. 現行制度の概要

(1) 目的

校区の中学校・義務教育学校に進学しても、小学校時に親しんできた運動部活動がなく、その希望する活動を続けたい生徒のニーズに応えるため、本市では平成14年度から拠点校部活動の制度を導入している。

(2) 種目と設置区

	東灘	灘	中央	兵庫	北(本区)	北(北神)	長田	須磨	垂水	西	高校・高専	合計
1. 卓球				◎				●		○		3
2. 柔道			◎		◎		◎	◎	◎		◎2	7
3. 剣道		◎		◎	◎		◎		◎			5
4. 体操競技			◎								◎	2
5. 相撲				◎								1
6. バドミントン	◎											1
7. 陸上競技		◎			◎			◎	◎			4
8. 水泳競技	◎		◎						◎	◎	◎	5
9. バスケットボール	●	○			○	●			●○			6
10. テニス	◎									◎		2

● 男子のみ ○ 女子のみ ◎ 男女とも

2. 現行制度上の課題

- ・拠点校部活動の顧問を担える教員が限定（勤務先の学校部活動の顧問との兼務）
- ・拠点校が固定せず、毎年度募集（教員の異動により拠点校が変更）
- ・活動日は原則土日及び長期休業期間（平日の活動がルール化できていない）
- ・活動場所までの移動時間、移動費用は自己負担
- ・団体種目における大会参加制限
- ・地域移行するにあたり、受け入れ基準等の要綱の改定が必要（小学校の経験等）

3. 今後の拠点校部活動の検討（どのような視点で拠点校部活動を整備することが必要か）

- ・設置種目と拠点校（活動場所）の見直し
- ・部活動指導員などの外部人材の積極的配置
- ・平日活動の設定（平日の放課後に近隣中学校との練習機会の確保）
- ・団体種目における大会参加制限の見直し
- ・大会への引率
- ・休日部活動の拠点校方式（合同部活動）としての活動

□ 部活動数が少ない種目

	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北 (本 区)	北 (北 神)	長 田	須 磨	垂 水	西	合 計
学校数(校)	7	5	7	5	8	9	6	11	11	13	82
1. 硬式テニス	1										1
2. 相撲				1							1
3. 体操競技			2		1					1	4
4. バドミントン	1		2			1					4
5. ハンドボール(男)			1				1	1		1	4
6. ハンドボール(女)	2							1			3
7. 水泳競技	1		2	1					4	2	10
8. ソフトボール	2	1	1	1	2	1			2	1	11
9. 柔道	1		2	2	1	1	5	1	5	2	20
10. 剣道	3	2	2	2	4		1	3	1	5	23

□ 個人種目の区別部活動数

	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北 (本 区)	北 (北 神)	長 田	須 磨	垂 水	西	合 計
学校数(校)	7	5	7	5	8	9	6	11	11	13	82
陸上競技	7	4	2	1	5	8	1	4	8	10	50
水泳競技	1	0	2	1	0	0	1	0	4	2	11
体操競技	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	4
ソフトテニス 男	6	5	4	1	6	4	2	8	9	9	54
ソフトテニス 女	6	5	4	5	7	5	4	10	11	11	68
柔道	1		2	2	1	1	5	1	5	2	20
剣道	3	2	2	2	4	0	1	3	1	5	23
バドミントン	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	4
水泳競技	1	0	2	1	0	0	1	0	4	2	11
テニス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※ 学校数の2割以下

中学校における休日部活動の段階的な地域移行に係るアンケート調査について(案) (概要)

1. 趣旨

中学校における休日部活動の段階的な地域移行を見据え、中学校部活動に対する児童生徒及びその保護者、教職員、受け皿となる関係団体のニーズ等の把握を目的とする。

2. 対象

- ① 中学校1, 2年生、小学校4, 5, 6年生(合計4学年) 約6万人
- ② ①の保護者(すぐーる登録者に配信) 約9万4,000人
- ③ 教職員(管理職を含む 小学校、中学校、特別支援学校) 約8,000人
- ④ 関係団体(スポーツ・文化芸術団体)

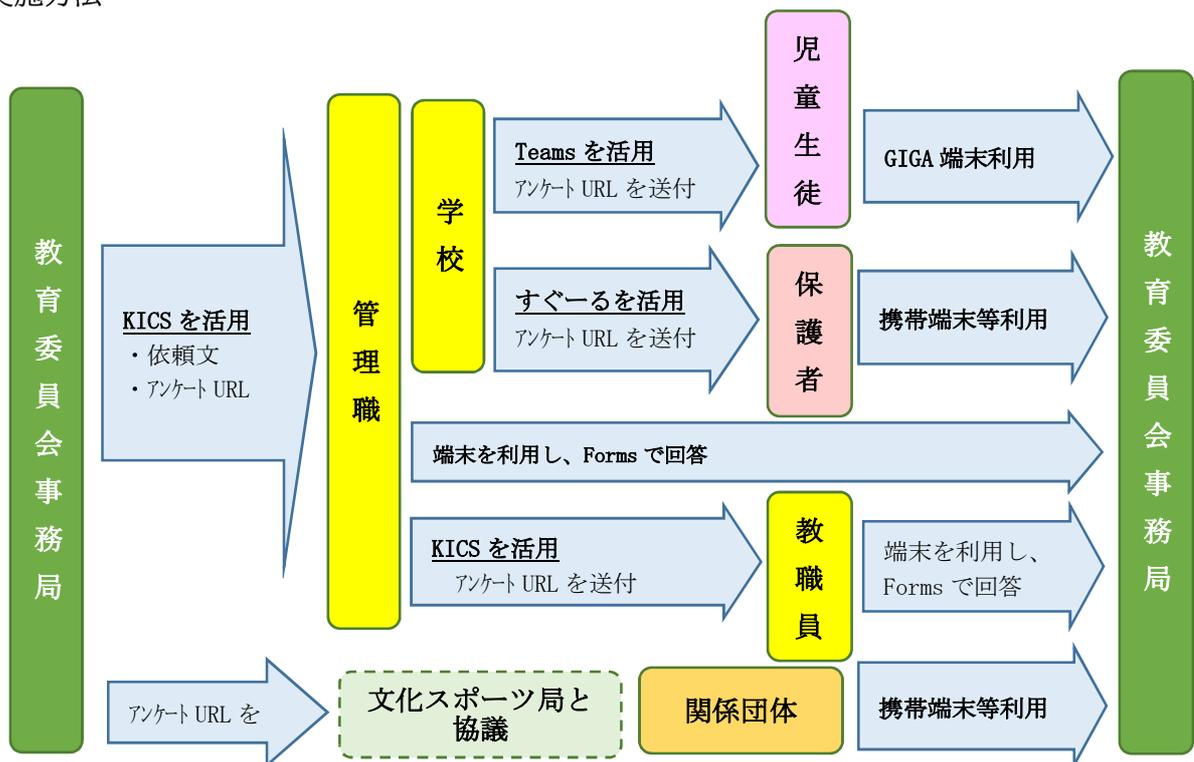
※ 総合型地域スポーツクラブ団体とアンケート内容について検討する打合会を12月下旬に実施予定(調整中)。

※ スポーツ協会・競技団体・スポーツ団体及び文化芸術団体へのアンケートの実施については、速やかに文化スポーツ局と再調整する。

3. 実施時期

- ①～③ 令和4年12月実施 ➔ 令和5年1月中旬締切
- ④ 令和5年1月実施 ➔ 令和5年2月中締切

4. 実施方法



アンケートにご協力いただく皆さんへ

中学校における休日部活動の地域移行について

～ 子供たちのスポーツ・文化芸術活動の充実のために ～

今夏、文部科学省(スポーツ庁・文化庁)が設置した検討会議から提言が出されたことに伴い、新聞やニュース等では、「中学校における休日部活動の地域移行」が話題となっています。

国の提言では、これまで主に教職員が担ってきた中学校の部活動のうち、休日の部活動を段階的に地域の各種団体や民間事業者等が実施する「地域クラブ部活動」に移行しようという大きな方針が示され、現在の中学校における休日部活動を地域の責任の下に運営・指導していこうというものです。

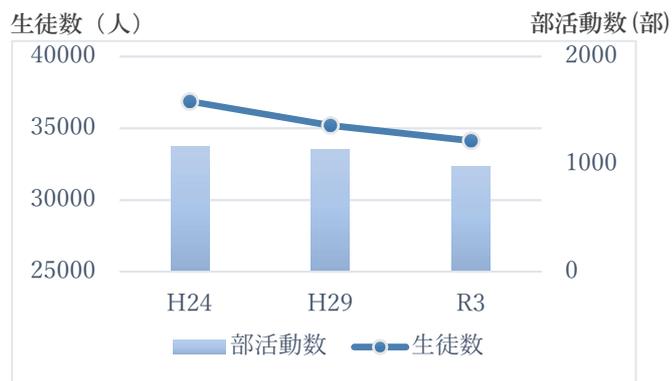
「地域クラブ部活動」への移行に当たっては、部活動を担っていただける団体や指導員の確保、活動にあたっての保護者負担の発生とその負担軽減など多くの課題があり、神戸市においても、現在、「部活動の地域移行のあり方検討委員会」を設置し、生徒にとってよりよい活動環境を構築できるように検討を進めています。ついては、活動の主役である子供たちやその保護者、教職員並びに関係者を対象にアンケートを実施し、今後の検討に当たって貴重なご意見とさせていただきますと考えています。

アンケートへのご協力をお願いいたします。

1. 中学校部活動の現状と課題

これまで、部活動は、参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術等の活動を通じて、学習とは異なる集団の経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきました。

一方で、現在、全国的に少子化が進み、本市でも各学校単位での部活動の維持が困難になったり、競技・指導経験のない教員が部活動を指導せざるを得ないことで、生徒の多様なニーズに応じた指導が難しくなっています。



2. 国が示す部活動の方向性

文部科学省(スポーツ庁・文化庁)では、これらの課題を解決するため、少子化が進む中でも、生徒にとってよりよい活動環境を構築するため、令和5年度から令和7年度までの3年を集中改革期間とし、「中学校部活動のうち、休日の活動について段階的に地域移行していく」という方針を示しています。

なお、国においては、平日の活動も地域移行することを想定していますが、当面の間、平日の部活動は学校部活動として活動を継続します。

【部活動(運動部・文化部)の地域移行に関する国の検討会議提言等より】

【検討すべき課題】

- ・スポーツ、文化芸術団体等と連携し、生徒の活動機会をいかに確保していくか
- ・意欲や専門性を持つ指導者をいかに確保していくか
- ・休日の活動に当たって発生する保護者の経済的負担にどのように対応していくか 等

4. これまでの「学校部活動」とこれからの「地域クラブ活動」

文部科学省では、地域の人材が指導するこれからの新しい活動を「地域クラブ活動」と表現していますが、これを学校部活動と比較すると、次のとおりとなります。

区 分	学校部活動	地域クラブ活動(休日)	
		運動部	文化部
管理運営	学校	地域のスポーツ団体等 例: 総合型地域スポーツクラブ、既存のスポーツクラブ等民間事業者などを想定	地域の文化芸術団体等 例: 音楽・絵画教室等の民間団体等
指 導 者	教員 部活動指導員	上記団体に所属する指導者 (地域クラブ活動への参加を希望する教職員を含む)	
保護者負担	なし	指導者への指導料、学校以外の施設使用料、保険料等が想定される	
活動場所	学校で実施	学校やスポーツ施設	学校や文化芸術施設

5. 本市における今後の取組

本市では、これまで、専門的な観点から指導ができる部活動指導員を外部人材として活用し、部活動の質の向上と充実を図ってきました。また、小学校から続けてきた種目が進学する中学校にない場合に、指定する学校の部活動に参加する「拠点校部活動」を導入し、生徒の活動機会の確保に努めてきました。令和3年度からは、地域移行を見据え、国の事業を活用した民間事業者への委託によるモデル事業を実施し、検証を進めています。

現在、「部活動の地域移行のあり方検討委員会」を設置し、本市における今後の部活動の地域移行のあり方について検討を進めています。具体的な検討を進めるにあたっては、児童生徒や保護者、関係団体の方々、学校の教職員のご意見をお聞きしながら具体的な検討を進めたいと考えています。

今回のアンケートの実施についてご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 部活動の地域移行(地域クラブ活動)によって何が変わるのか？

- 《運営主体》 休日の活動の運営主体を学校から地域団体に移すことを目指しています。
 ※国は、平日の活動も地域に移行することを想定していますが、まずは、中学校における休日の活動を段階的に地域移行することを目指しています。
- 《指導者》 これまで主として教職員が指導してきましたが、地域の各種団体や民間事業者等の指導員が指導することになります。
 ※ただし、専門的知識や技量、指導経験をもち、かつ指導を強く希望する教職員については、地域クラブ活動に指導者として参画することも想定しています。
- 《費用負担》 活動場所までの交通費をはじめ、活動に必要な費用(保険料・施設利用料・指導者への謝金等)は、保護者負担が原則となります。
- 《保険》 学校部活動は、日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」が適用されますが、地域クラブ活動は、活動場所が学校の施設であった場合も、この給付制度が適用されないため、新たにスポーツ安全保険等への保険加入が必要となります。

2. 令和5年度からの休日の活動はどうなるのか？

現在、国は、中学校における休日の活動を段階的に地域移行する方針を示していますが、地域移行にあたっては、それを可能とする活動環境の整備や指導者の確保などが必要となります。ついでに、地域移行の準備が整った活動から移行することを想定していますが、それまでは、学校の部活動として継続する予定です。

3. 今後、学校単位で行う部活動はなくなってしまうのか？

国では、まずは、中学校における休日部活動を段階的に地域移行(地域クラブ活動)することを目指しています。休日の活動が地域に移行し「地域クラブ活動」となったとしても、平日の活動は、学校部活動として活動を続けます。
 なお、国は、将来的には平日の活動も地域に移行することを想定していますが、まずは、休日部活動の地域移行の成果と課題を検証し、その後の取組を決定していくべきものと考えています。

4. 地域移行によって発生する「保護者負担」はどのような費用を想定しているのか？

これまでの部活動は、主に学校の教職員が指導を行っており、学校外の会場への交通費や個人で必要とする道具等の費用などを負担していただいていたいました。
 地域移行後は、これらの費用に加え、指導者の指導料や施設の利用料などの経費負担が想定されます。活動にあたっては、学校施設の積極的な利用により、負担軽減に努めてまいります。保護者負担が大きくなることで、子供が部活動の参加を躊躇してしまったり、あきらめたりするようなことがないように、さらに、保護者負担の軽減の方策について、検討してまいります。

5. 「拠点校部活動」とはどのようなものか？

「拠点校部活動」とは、小学校から続けてきた種目を中学校でも継続して行いたいけれども、進学する中学校にないという生徒が、指定された中学校(拠点校)で部活動に参加できるという制度です。本市では、今後、持続可能な部活動のあり方の一つとして、大きな役割を果たすものと考えています。

調査内容（別紙のとおり）

	対象者	対象者詳細	質問数	基本項目	現状の項目	移行後の項目
(1)	中学生用 26問	学校部活動のみに入部	23問	3問	12問	8問
		学校部活動+ｽﾎﾟｰﾂ・文化ｸﾗﾌﾞ	25問	3問	14問	8問
		ｽﾎﾟｰﾂ・文化ｸﾗﾌﾞのみ	15問	3問	4問	8問
		無所属	13問	3問	2問	8問
(2)	小学生用 12問	部活動入部希望	10問	3問	4問	3問
		部活動入部希望なし	8問	3問	2問	3問

	対象者	対象者詳細	質問数	基本項目	現状の項目	移行後の項目
(3)	①中学生 保護者用 28問	学校部活動のみに入部	24問	2問	14問	8問
		学校部活動+ｽﾎﾟｰﾂ・文化ｸﾗﾌﾞ	26問	2問	16問	8問
		ｽﾎﾟｰﾂ・文化ｸﾗﾌﾞのみ	16問	2問	6問	8問
		無所属	14問	2問	4問	8問
	②小学生 保護者用 15問	部活動入部のみに入部希望	15問	2問	3問	10問
		部活動入部希望 + 地域ｸﾗﾌﾞ活動希望	13問	2問	3問	8問
		地域ｸﾗﾌﾞ活動のみに希望	15問	2問	3問	10問
		無所属	15問	2問	3問	10問

	対象者	対象者詳細	質問数	基本項目	現状の項目	移行後の項目
(4)	学校関係者	管理職	20問	2問	8問	10問
		教職員	21問	4問	7問	10問

	対象者	対象者詳細	質問数	基本項目	現状の項目	移行後の項目
(5)	関係団体等	文化スポーツ局と協議	未定			

【中学生用】 部活動アンケート (案)

中学校の部活動の仕組みが、大きく変わろうとしています。

これは、「部活動の地域移行（地域クラブ活動への移行）」と言われていますが、神戸市だけでなく、全国的な動きで、これまで学校の先生方が行ってきた学校の部活動のうち、まずは休日の活動を段階的に地域の団体やスポーツクラブ、スポーツジムなどの民間団体等が実施する「地域クラブ活動」に移行していこうというものです。

皆さんにとって、よりよい活動環境を構築するため、アンケートを実施することになりました。

今後、皆さんから頂いたご意見を踏まえ、具体的な検討を進めていきたいと考えていきます。

設問 1. あなたは中学校何年生ですか。

- 中学校 1 年生 (義務教育学校 7 年生)
- 中学校 2 年生 (義務教育学校 8 年生)

設問 2. あなたの性別を教えてください。

- 男
- 女

設問 3. あなたは、学校の部活動に入部していますか。(拠点校部活動を含む)

- 運動部(拠点校部活動)に入部している
- 文化部に入部している
- 入部していない ⇒ 設問 15 へ進む

設問 4. 現在、学校部活動で所属している部活動は何ですか。

(運動部)

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 陸上競技 | <input type="radio"/> 水泳競技 | <input type="radio"/> 体操競技 | <input type="radio"/> ソフトテニス |
| <input type="radio"/> 卓球 | <input type="radio"/> バスケットボール | <input type="radio"/> バレーボール | <input type="radio"/> ハンドボール |
| <input type="radio"/> 軟式野球 | <input type="radio"/> 相撲 | <input type="radio"/> サッカー | <input type="radio"/> 柔道 |
| <input type="radio"/> 剣道 | <input type="radio"/> ソフトボール | <input type="radio"/> バドミントン | <input type="radio"/> 硬式テニス |

(文化部)

- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> 合唱 | <input type="radio"/> 吹奏楽 | <input type="radio"/> 茶道 | <input type="radio"/> 華道 |
| <input type="radio"/> 書道 | <input type="radio"/> 美術・芸術 | <input type="radio"/> 総合文化・創芸 | <input type="radio"/> 放送 |
| <input type="radio"/> 家庭・生活 | <input type="radio"/> E S S ・英語 | <input type="radio"/> コンピュータ | <input type="radio"/> 情報技術・情報科学 |
| <input type="radio"/> 理科・科学・生物 | <input type="radio"/> 技術・工芸・ものづくり | <input type="radio"/> 演劇 | <input type="radio"/> その他 |

設問 5. (問 3 の設問で、学校の部活動に入部している生徒のみ回答)

学校部活動に入部した理由について、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- その種目や活動を楽しみたい又はやってみたい
- 学校生活を楽しく豊かにしたい
- 大会やコンクールでよい成績を残したい
- チームワークや協調性を身につけたい
- あいさつや礼儀等の社会性を身につけたい
- 規則正しい生活習慣を身につけたい
- 忍耐力を身につけたい
- 体力や技術を向上させたい
- 交友範囲を広げ、楽しく活動したい
- 進路に役立てたい
- 特に理由はない

設問 6. あなたが所属している学校部活動の平日の休養日について、あてはまるものを選んでください。

- 1 日
- 2 日
- 3 日以上

設問 7. あなたが所属している学校部活動の平日の活動について、日数や時間をどう思っていますか。

- 多い ⇒ 設問 8 へ進む
- 少ない ⇒ 設問 9 へ進む
- ちょうどいい ⇒ 設問 10 へ進む
- 平日の活動はなくてもよい ⇒ 設問 8 へ進む

設問 8. (設問 7. で「多い」「なくてもよい」と答えた方のみ回答)

設問 7. で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 活動そのものは楽しいが、平日 1 日の休養日しかないとしんどい
- 体力や技術を向上させるためには、休日の活動だけで十分
- 大会やコンクールでよい成績を残そうとは思っていないため、休日の活動だけで十分
- 大会やコンクールの前だけでいい
- 平日の放課後は、塾や習い事で忙しい
- 特に理由はない
- その他

設問 9. (設問 7. で「少ない」と答えた方のみ回答)

設問 7. で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 活動そのものが楽しく、もっとやりたい
- 体力や技術を向上させるために、もっとやりたい
- 大会やコンクールでよい成績を残すために、もっとやりたい
- 進路に役立てたい
- 平日の放課後にやるのがなくなる
- 特に理由はない
- その他

設問 10. あなたが所属している学校部活動の休日の休養日について、あてはまるものを選んでください。

- どちらか 1 日
- 2 日とも

設問 11. あなたが所属している学校部活動の休日の活動について、日数や時間をどう思っていますか。

- 多い ⇒ 設問 12 へ進む
- 少ない ⇒ 設問 13 へ進む
- ちょうどいい ⇒ 設問 14 へ進む
- 平日の活動はなくてもよい ⇒ 設問 12 へ進む

設問 12. (設問 11. で「多い」「なくてもよい」と答えた方のみ回答)

設問 11 で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 活動そのものは楽しいが、平日だけで十分
- 体力や技術を向上させるためには、平日の活動だけで十分
- 大会やコンクールでよい成績を残そうとは思っていないため、休日の活動だけで十分
- 大会やコンクールの前だけでいい
- 休日は休みたい (選択肢つづく)

- 自分のやりたいこと(勉強、趣味、平日とは異なる活動等)に時間を使いたい
- 特に理由はない
- その他

設問 13. (設問 11 で「少ない」と答えた方のみ回答)

設問 11 で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべて選んでください。

- 活動そのものが楽しく、もっとやりたい
- 体力や技術を向上させるためには、平日の活動だけでは足りない
- 大会やコンクールでよい成績を残すためには、平日の活動だけでは足りない
- 進路に役立てたい
- 土日にやるのがなくなるから
- 特に理由はない
- その他

設問 14. 学校部活動を行ううえで、あなたが、困っていることや悩んでいることについて、当てはまるものをすべて選んでください。

- 専門的な指導が十分に受けられない
- 部員数が少なく活動が制限される
- 部員数が多く活動が制限される
- 勉強との両立が難しい
- 顧問の先生や部活動指導員の指導が厳しい
- 練習が厳しく、活動そのものを楽しめていない
- 自由に遊んだり、好きなことをしたり、他にしたいことができない
- 生徒同士の人間関係が難しい
- 特に、困っていることや悩みはない
- その他

※ (学校の部活動に入部している生徒) 設問 16 へ進む

設問 15. (設問 3 で学校の部活動に入部していない生徒のみ回答)

学校部活動に入部していない理由について、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- 入りたい部活動がないから
- 習い事など他にやることがあったから
- 勉強に集中したいから
- 学校部活動の活動時間が長すぎる。また活動日数が多すぎるから
- けが等をしたくない
- 運動・文化活動は苦手、やりたくないから
- 入りたい部活動に友達がいないから
- 特に理由はない
- その他

設問 16. 学校部活動以外で取り組んでいる活動はありますか。

- はい ⇒ 設問 17 へ進む
- いいえ ⇒ 設問 19 へ進む

設問 17. 現在、学校部活動以外で取り組んでいる活動で、あてはまるものをすべて選んでください。

(スポーツ)

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 陸上競技 | <input type="radio"/> 水泳競技 | <input type="radio"/> 体操競技 | <input type="radio"/> ソフトテニス |
| <input type="radio"/> 卓球 | <input type="radio"/> バスケットボール | <input type="radio"/> バレーボール | <input type="radio"/> ハンドボール |
| <input type="radio"/> 軟式野球 | <input type="radio"/> 相撲 | <input type="radio"/> サッカー | <input type="radio"/> 柔道 (選択肢続く) |

剣道 ソフトボール バドミントン 硬式テニス その他

(文化芸術活動)

- コーラス・合唱 ピアノ等の楽器 茶道 華道
 書道 美術・芸術 総合文化・創芸 放送
 家庭・生活 E S S・英語 コンピュータ 情報技術・情報科学
 理科・科学・生物 技術・工芸・ものづくり 演劇 その他

設問 18. 学校部活動以外で取り組んでいる活動の状況について、あてはまるものを選んでください。

- 平日、休日ともに活動がある
 平日はなく、土日は両方とも活動がある
 平日はなく、土日のどちらかは活動がある
 休日はなく、平日に活動がある
 2週間に1回程度の活動である
 大会やコンクール以外の活動はほとんどない

設問 19. 休日の学校部活動の段階的な地域移行（地域クラブ活動へ移行）について、国や神戸市において検討を進めていますが、このことを知っていますか。

- 知っている
 少し知っている
 知らない

設問 20. 休日の学校部活動が段階的に地域移行（地域クラブ活動へ移行）することについて、あなたはどのように思いますか。

- 賛成
 条件付きで賛成
 心配や不安が大きい
 よくわからない

設問 21. 休日の学校部活動が段階的に地域クラブ活動に移行することが検討されていますが、あなたが期待することについて、あてはまるものをすべてを選んでください。

- 活動の選択肢が増える（例えば、平日と別の活動を選択することができる）
 学校部活動にはなかった種目や活動を選択できる
（例えば、スケートボードやストリートダンス等のアーバンスポーツ等）
 専門性の高い指導が受けられることができる
 同じ学校以外の人や年齢が違う世代の人との交流が増える
 自分の目的に合った活動を選択することができる
（楽しむことに重視する活動やレクリエーション的な活動もできる）
 異動や退職の影響を受けにくく、継続的に指導ができる人材を確保できる
 特に期待することはない
 その他 ⇒ 記述式回答 設問 22 へ進む

設問 22. その他、期待することがあれば、記入してください。

設問 23. 休日の学校部活動が段階的に地域クラブ活動に移行することが検討されていますが、あなたが不安に思うことについて、あてはまるものをすべてを選んでください。

- 平日と休日で指導者が変わり、指導内容が違ったりしないか
 希望する活動や種目が、住んでいる地域で(又は近くで)活動できるか (選択肢つづく)

- 休日の活動として選択肢が増えて悩む(クラブチーム、総合型地域スポーツクラブ等)
- 月謝や交通費などの金銭面での負担
- 保護者の負担(送迎や配車、応援等)
- 特に不安なことはない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問24へ進む

設問24. その他、不安なことがあれば、記入してください。

設問25. 休日の学校部活動が**地域クラブ活動**に移行された場合、希望に近いものを選んでください。

- 今、入部している学校部活動と同じ活動(種目)をしたい
- 今、入部している学校部活動とは違う活動(種目)をしたい ⇒ 設問26へ進む
- 今、学校部活動に入部していないが、活動(種目)に参加をしてみたい ⇒ 設問26へ進む
- 休日の活動は希望しない
- わからない

設問26. 休日の学校部活動が**地域クラブ活動**に移行された場合、スケートボードやストリートダンス等のアーバンスポーツや地域で盛んな文化芸術等、これまで学校の部活動では経験できなかった活動も経験できるようになることも期待されています。あなたがやってみたい活動を教えてください。

【小学 4, 5, 6 年生用】 部活動アンケート (案)

中学校の部活動の仕組みが、大きく変わろうとしています。

現在、全国的に子供の数が減っており、数年先には、皆さんが進学する中学校でも、将来的に学校単位での部活動ができなくなる可能性があります。休日の活動について、学校単位ではない地域の活動（地域クラブ活動といいます）に切り替える取組が予定されています。

そこで、「中学校の部活動」について、小学校 4, 5, 6 年生のみなさんにアンケートを実施します。率直なご意見をお聞かせください。

設問 1. あなたは小学校何年生ですか。

- 小学校 4 年生 (義務教育学校 4 年生)
- 小学校 5 年生 (義務教育学校 5 年生)
- 小学校 6 年生 (義務教育学校 6 年生)

設問 2. あなたの性別をお答えください。

- 男
- 女

設問 3. あなたが中学校に入学したら、部活動に入部したいですか。

(部活動とは、授業が終わった放課後や休日に活動するものです。運動部と文化部があります。)

- 入りたい ⇒ 設問 4 へ進む
- 入らないつもりである ⇒ 設問 8 へ進む
- わからない ⇒ 設問 8 へ進む

設問 4. (設問 3. で「入りたい」と答えた児童のみ) あなたが中学生になって、参加してみたい活動としてあてはまるものをすべて選んでください。

(運動部)

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 陸上競技 | <input type="radio"/> 水泳競技 | <input type="radio"/> 体操競技 | <input type="radio"/> ソフトテニス |
| <input type="radio"/> 卓球 | <input type="radio"/> バスケットボール | <input type="radio"/> バレーボール | <input type="radio"/> ハンドボール |
| <input type="radio"/> 軟式野球 | <input type="radio"/> 相撲 | <input type="radio"/> サッカー | <input type="radio"/> 柔道 |
| <input type="radio"/> 剣道 | <input type="radio"/> ソフトボール | <input type="radio"/> バドミントン | <input type="radio"/> 硬式テニス |

(文化部)

- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> 合唱 | <input type="radio"/> 吹奏楽 | <input type="radio"/> 茶道 | <input type="radio"/> 華道 |
| <input type="radio"/> 書道 | <input type="radio"/> 美術・芸術 | <input type="radio"/> 総合文化・創芸 | <input type="radio"/> 放送 |
| <input type="radio"/> 家庭・生活 | <input type="radio"/> E S S ・英語 | <input type="radio"/> コンピュータ | <input type="radio"/> 情報技術・情報科学 |
| <input type="radio"/> 理科・科学・生物 | <input type="radio"/> 技術・工芸・ものづくり | <input type="radio"/> 演劇 | <input type="radio"/> その他 |

設問 5. あなたが進学する中学校に、あなたが入りたいと思う部活動はありますか。

- ある
- ない
- わからない

設問 6. あなたが中学校の部活動に入りたい理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

- その種目や活動を楽しみたい又はやってみたい
- 大会やコンクールに参加して、よい成績を残したい
- 学校生活を楽しく豊かにしたいから
- チームワークや協調性を身につけたいから (選択肢つづく)

- あいさつや礼儀等の社会性を身につけたいから
- 規則正しい生活習慣を身につけたいから
- 忍耐力を身につけたいから
- 体力や技術を向上させたいから
- 友達を増やしたいから
- 兄や姉が中学校の部活動に入っているから
- 現在、習いごとや課外活動で参加している活動を中学校の部活動でも続けたいから
- 今までやったことのないスポーツや文化活動を中学校の部活動でやってみたいから
- 特に理由はない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 7 へ進む

設問 7. その他、部活動に入りたい理由があれば、記入してください。

設問 8. (設問 3. で「入らないつもりである」「わからない」と答えた児童のみ)
その理由はなんですか。あてはまるものすべて選んでください。

- 休日は休みたい
- やりたい種目や活動の部活動がない
- 得意なスポーツや文化芸術活動がない
- 勉強や塾があるから
- 自由に遊んだり、好きなことをしたりする時間が欲しいから
- クラブチーム等の活動に参加するから
- 特に理由はない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 9 へ進む

設問 9. その他、部活動に入るつもりはないという理由があれば、記入してください。

設問 10. 休日の中学校部活動は、学校の先生ではなく、地域の方が指導する地域クラブ活動になっていきます。その活動に参加したいですか。

- 参加してみたい
- 参加しない
- わからない

設問 11. 休日の中学校部活動が、学校の活動ではなく、地域の活動 (地域クラブ活動) になることで、できるようになってほしいことをすべて選んでください。

- 活動の選択肢が増える (例えば、平日と別の活動を選択することができる)
- 学校部活動にはなかった種目や活動を選択できる
(例えば、スケートボードやストリートダンス等のアーバンスポーツ等)
- 専門性の高い指導が受けることができる
- 同じ学校以外の人や年齢が違う世代の人との交流が増える
- 自分の目的に合った活動を選択することができる
(楽しむことに重視する活動やレクリエーション的な活動もできる)
- 異動や退職の影響を受けにくく、継続的に指導ができる人材を確保できる
- 特に期待することはない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 12 へ進む

設問 12. その他、できるようになってほしいことがあれば、記入してください。

【中学生保護者用】 部活動アンケート (案)

中学校の部活動の仕組みが、大きく変わろうとしています。

これは、「部活動の地域移行(地域クラブ活動への移行)」と言われていますが、神戸市だけでなく、全国において、これまで学校の先生方が行ってきた部活動を、地域の団体やスポーツクラブ、民間事業者等の指導員による指導に移行していこうとするものです。

中学校部活動は、参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術活動等を通じて、学習とは異なる集団での経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきましたが、全国的に少子化が進行し、本市でも将来的には学校単位での部活動が難しくなる可能性があります。

神戸市では、「部活動の地域移行のあり方検討委員会」で、生徒にとってよりよい活動環境を構築できるように検討を進めています。ついては、部活動に関するアンケートを実施し、保護者の皆さまの声を聞かせていただきたいと考えています。今後の検討に当たっての重要なお意見とさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

設問1. 現在、お子様は、中学校何年生ですか。

- 中学校1年生(義務教育学校7年生)
- 中学校2年生(義務教育学校8年生)

設問2. 現在、お子様は、学校の部活動に入部していますか。(拠点校部活動を含む)

- 運動部(拠点校部活動)に入部している
- 文化部に入部している
- 入部していない ⇒ 設問15へ進む

設問3. 現在、あなたのお子様は学校部活動で所属している部活動は何ですか。

(スポーツ)

- | | | | |
|----------------------------|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 陸上競技 | <input type="radio"/> 水泳競技 | <input type="radio"/> 体操競技 | <input type="radio"/> ソフトテニス |
| <input type="radio"/> 卓球 | <input type="radio"/> バasketボール | <input type="radio"/> バレーボール | <input type="radio"/> ハンドボール |
| <input type="radio"/> 軟式野球 | <input type="radio"/> 相撲 | <input type="radio"/> サッカー | <input type="radio"/> 柔道 |
| <input type="radio"/> 剣道 | <input type="radio"/> ソフトボール | <input type="radio"/> バドミントン | <input type="radio"/> 硬式テニス |

(文化芸術活動)

- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> 合唱 | <input type="radio"/> 吹奏楽 | <input type="radio"/> 茶道 | <input type="radio"/> 華道 |
| <input type="radio"/> 書道 | <input type="radio"/> 美術・芸術 | <input type="radio"/> 総合文化・創芸 | <input type="radio"/> 放送 |
| <input type="radio"/> 家庭・生活 | <input type="radio"/> E S S・英語 | <input type="radio"/> コンピュータ | <input type="radio"/> 情報技術・情報科学 |
| <input type="radio"/> 理科・科学・生物 | <input type="radio"/> 技術・工芸・ものづくり | <input type="radio"/> 演劇 | <input type="radio"/> その他 |

設問4. (設問2で、「お様が学校の部活動に入部している」とした保護者のみ回答)

学校部活動に期待することについて、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- その種目や活動を楽しんでほしい又はやってほしい
- 学校生活を楽しく豊かにしてほしい
- 大会やコンクールでよい成績を残してほしい
- チームワークや協調性を身につけてほしい
- あいさつや礼儀等の社会性を身につけてほしい
- 規則正しい生活習慣を身につけてほしい
- 忍耐力を身につけてほしい
- 体力や技術を向上させてほしい
- 交友範囲を広げ、楽しく活動してほしい
- 特に期待することはない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問5へ進む

設問5. その他、期待することがあれば、ご記入ください。

設問6. お子様が所属している学校部活動の平日の休養日について、あてはまるものを選んでください。

- 1日
- 2日
- 3日以上

設問7. お子様が所属している学校部活動の平日の活動について、日数や時間をどう思っていますか。

- 多い ⇒ 設問8へ進む
- 少ない ⇒ 設問9へ進む
- ちょうどいい ⇒ 設問10へ進む
- 平日の活動はなくてもよい ⇒ 設問8へ進む

設問8. (設問7.で「多い」「なくてもよい」と答えた方のみ回答)

設問7.で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 活動そのものを楽しめているが、休日の活動だけで十分
- 体力や技術を向上させるためには、休日の活動だけで十分
- 大会やコンクールでよい成績を残そうとは思っていないため、休日の活動だけで十分
- 大会やコンクールの前だけでいい
- 平日の放課後は、塾や習い事で忙しい
- 特に理由はない
- その他

※ (設問7.で「多い」「なくてもよい」と答えた方) 設問10へ進む

設問9. (設問7.で「少ない」と答えた方のみ回答)

設問7.で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 活動そのものを楽しんでおり、もっとやらせてあげたい
- 体力や技術を向上させるために、もっとやらせてあげたい
- 大会やコンクールでよい成績を残すために、もっとやらせてあげたい
- 進路に役立てたい
- 平日の放課後にやるのがなくなる
- 特に理由はない
- その他

設問10. お子様が所属している学校部活動の休日の休養日について、あてはまるものを選んでください。

- どちらか1日
- 2日とも

設問11. お子様が所属している学校部活動の休日の活動について、日数や時間をどう思っていますか。

- 多い ⇒ 設問12へ進む
- 少ない ⇒ 設問13へ進む
- ちょうどいい ⇒ 設問14へ進む
- 平日の活動はなくてもよい ⇒ 設問12へ進む

設問12. (設問11.で「多い」「なくてもよい」と答えた方のみ回答)

設問11.で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 活動そのものを楽しんでいるが、平日だけで十分
- 体力や技術を向上させるためには、平日の活動だけで十分
- 大会やコンクールでよい成績を残そうとは思っていないため、休日の活動だけで十分
- 大会やコンクールの前だけでいい (選択肢つづく)

- 休日は休ませたい
- 自分のやりたいこと(勉強、趣味、平日とは異なる活動等)に時間をに使わせたい
- 特に理由はない
- その他

設問 13. (設問 11 で「少ない」と答えた方のみ回答)

設問 11 で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべて選んでください。

- 活動そのものを楽しんでおり、もっとやらせたい
- 体力や技術を向上させるためには、平日の活動だけでは足りない
- 大会やコンクールでよい成績を残すためには、平日の活動だけでは足りない
- 進路に役立ててほしい
- 土日にやるのがなくなるから
- 特に理由はない
- その他

設問 14. 学校部活動を行ううえで、あなたが、困っていることや悩んでいることついて、当てはまるものをすべて選んでください。

- 専門的な指導が十分に受けられない
- 部員数が少なく活動が制限される
- 部員数が多く活動が制限される
- 勉強との両立が難しい
- 顧問の先生や部活動指導員の指導が厳しい
- 練習が厳しく、活動そのものを楽しめていない
- 自由に遊んだり、好きなことをしたり、他にしたいことができない
- 生徒同士の人間関係が難しい
- 特に、困っていることや悩みはない
- その他

※ (お子様が学校の部活動に入部している方) 設問 17 へ進む

設問 15. (設問 2 で、「お子様が学校の部活動に入部していない」とした保護者のみ回答)

お子様が学校の部活動に入部していない理由について、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- 子供の意向に沿っている(子供が部活動に入りたいと言わない)
- 部活動に係る費用が余計にかかる
- 習い事など他にやるのがあって、部活動に参加する時間的な余裕がない
- 勉強に集中させるために、時間的な余裕がない
- 学校部活動の活動時間が長く、活動日数が多すぎる
- 部活動だけが等をさせたくない
- 入れたい部活動がない
- 運動・文化活動は苦手で、やらせたくない
- 入れたい部活動に友達がいない
- 特に理由はない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 16 へ進む

設問 16. その他、お子様が学校の部活動に入部していない理由があれば、ご記入ください。

設問 17. 現在、お子様は、学校部活動以外で取り組んでいる活動はありますか。

- はい
- いいえ ⇒ 設問 20 へ進む

設問 18. 現在、お子様が、学校部活動以外で取り組んでいる活動で、あてはまるものすべて選んでください。

(スポーツ)

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 陸上競技 | <input type="radio"/> 水泳競技 | <input type="radio"/> 体操競技 | <input type="radio"/> ソフトテニス |
| <input type="radio"/> 卓球 | <input type="radio"/> バスケットボール | <input type="radio"/> バレーボール | <input type="radio"/> ハンドボール |
| <input type="radio"/> 軟式野球 | <input type="radio"/> 相撲 | <input type="radio"/> サッカー | <input type="radio"/> 柔道 |
| <input type="radio"/> 剣道 | <input type="radio"/> ソフトボール | <input type="radio"/> バドミントン | <input type="radio"/> 硬式テニス |
| <input type="radio"/> その他 | | | |

(文化芸術活動)

- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> 合唱 | <input type="radio"/> 吹奏楽 | <input type="radio"/> 茶道 | <input type="radio"/> 華道 |
| <input type="radio"/> 書道 | <input type="radio"/> 美術・芸術 | <input type="radio"/> 総合文化・創芸 | <input type="radio"/> 放送 |
| <input type="radio"/> 家庭・生活 | <input type="radio"/> E S S・英語 | <input type="radio"/> コンピュータ | <input type="radio"/> 情報技術・情報科学 |
| <input type="radio"/> 理科・科学・生物 | <input type="radio"/> 技術・工芸・ものづくり | <input type="radio"/> 演劇 | <input type="radio"/> その他 |

設問 19. 現在、学校部活動以外で取り組んでいる活動の状況について、あてはまるものを選んでください。

- 平日、休日ともに活動がある
- 平日はなく、土日は両方とも活動がある
- 平日はなく、土日のどちらかは活動がある
- 休日はなく、平日に活動がある
- 2週間に1回程度の活動である
- 大会やコンクール以外の活動はほとんどない

設問 20. 休日の学校部活動を段階的に地域移行(地域クラブ活動へ移行)について、国や神戸市において検討を進めていますが、このことを知っていますか。

- 知っている
- 少し知っている
- 知らない

設問 21. 休日の学校部活動が段階的に地域移行(地域クラブ活動へ移行)することが検討していますが、このことに対する期待について、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- 活動の選択肢が増える。
(例えば、平日と別の活動を選択することができる。)
- 学校部活動では選択できなかった活動を選択できる。
- 専門性の高い指導が受けることができる。
- 同じ学校以外の人や年齢が違う世代の人との交流が増える
- 自分に合った活動を選択することができる。
(楽しむことに重視する活動やレクリエーション的な活動もできる)
- 教員の負担が減り、学習指導等が充実する
- 期待することはない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 22 へ進む

設問 22. その他、期待することがあれば、ご記入ください。

設問 23. 現在、検討している休日の活動について、地域移行後の活動((以下、地域クラブ活動という)に、お子様を参加させる場合、心配されることをすべて選んでください。

- 子供の活動費等の経済的負担
- 保護者の送迎や配車、応援等
- 地域に移行された活動への運営協力(鍵当番や見守りなどへの協力)
- 異なる中学校の生徒との人間関係

(選択肢つづく)

- 平日と休日で指導者が変わり、指導内容が違ったりしないか
- 希望する活動や種目が、住んでいる地域で(又は近くで)活動できるか
- 休日の活動として選択肢が増えて悩む(クラブチーム、総合型地域スポーツクラブ等)
- 指導者との連絡方法
- けがや体調不良等の緊急事態が起こった際の対応
- 生徒間でトラブルが起こった際の対応
- 指導者による暴言等の不適切な指導やハラスメント等が起きた時の対応
- 大会に出場する際に、誰が申込や登録等をするのか
- 特に心配することはない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 24 へ進む

設問 24. その他、心配されることがあれば、記入してください。

- _____

設問 25. お子様を休日の地域クラブ活動に参加させる場合、あなたの希望に近いものを選んでください。

- 今、入部している学校部活動と同じ活動(種目)をさせたい
- 今、入部している学校部活動とは違う活動(種目)をさせたい
- 今、入部していないが、活動(種目)に参加をさせたい
- 子供の希望に任せる
- 休日の活動はなくてもよい
- わからない

設問 26. 休日の学校部活動が地域クラブ活動に移行した場合、あなたは指導者として関わりたいですか。

- 関わりたい
- 関わりたいくない
- どちらともいえない

設問 27. 休日の学校部活動が地域クラブ活動に移行された場合、指導者への謝金や施設利用料、活動場所までの交通費等の費用負担が必要となります。

月4回程度の活動として考えた場合(まずは、休日のみの活動であり、ガイドラインを厳守した活動とするため)、どれ位の負担が適切と考えますか。費用範囲をご回答ください。

- 1,000円/月 以内(250円/1回 以内)
- 1,000円~2,000円/月 以内(250円~500円/1回 以内)
- 2,000円~3,000円/月 以内(500円~750円/1回 以内)
- 3,000円~4,000円/月 以内(750円~1,000円/1回 以内)
- 5,000円/月 以内(1,250円/1回 以内)
- 5,000円/月 (1,250円/1回)を超えても負担する
- 活動内容や指導者の有資格などから判断したい
- 保護者の負担が生じるなら参加させない

設問 28. 現在、お子様の習い事(学習塾、スポーツクラブ、書道・ピアノなどの文化活動など)にかけている1か月の総費用はいくらですか。

- 5,000円/月 以内
- 5,000円~10,000円/月 以内
- 10,000円~20,000円/月 以内
- 20,000円~30,000円/月 以内
- 30,000円~40,000円/月 以内
- 40,000円~50,000円/月 以内
- 50,000円/月 以上
- 習い事はしていない

【小学4,5,6年生保護者用】これからの部活動に関するアンケート(案)

中学校部活動は、参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術活動等を通じて、学習とは異なる集団での経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきました。

しかし、現在、全国的に少子化が進行し、本市でも1校あたりの生徒数の減少傾向が続いており、将来的には学校単位での部活動が難しくなる可能性があります。

現在、国において、休日における中学校部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行する方針が示されており、中学校部活動の仕組みが大きく変わろうとしています。

そこで、これからの部活動のあり方について、小学4,5,6年生の保護者の皆様からご意見をいただくため、アンケートを実施いたします。率直なご意見をお聞かせください。

設問1. お子様は小学校何年生ですか。

- 小学校4年生(義務教育学校4年生)
- 小学校5年生(義務教育学校5年生)
- 小学校6年生(義務教育学校6年生)

設問2. お子様が中学校に入学したら、部活動に入部してほしいですか。

(部活動とは、授業が終わった放課後や休日に活動するものです。運動部と文化部があります。)

- 入部してほしい ⇒ 設問3へ進む
- 子どもの希望に任せる ⇒ 設問3へ進む
- 入部させるつもりはない ⇒ 設問5へ進む

設問3. (設問2で「入部してほしい」「子どもの希望に任せる」と答えた方のみ)

お子様が中学校の部活動に入部してほしい理由について、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- その種目や活動を楽しんでほしい又はやってほしい
- 学校生活を楽しく豊かにしてほしい
- 大会やコンクールでよい成績を残してほしい
- チームワークや協調性を身につけてほしい
- あいさつや礼儀等の社会性を身につけてほしい
- 規則正しい生活習慣を身につけてほしい
- 忍耐力を身につけてほしい
- 体力や技術を向上させてほしい
- 交友範囲を広げ、楽しく活動してほしい
- 特に期待することはない
- 兄や姉が入っている
- 現在、習いごとや課外活動で参加している活動を中学校の部活動で続けてほしい
- 今までやったことのないスポーツや文化活動を中学校の部活動でしてほしい
- 特に理由はない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問4へ進む

設問4. その他、部活動に入部してほしい理由があれば、ご記入ください。

※ (設問2でお子様为学校の部活動に「入部してほしい」「子どもの希望に任せる」と答えた方) 設問7へ進む

設問5. (設問2で「入部させるつもりはない」と答えた方のみ)

お子様を中学校の部活動に入部させるつもりはない理由について、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- 子供の意向に沿っている(子供が部活動に入りたいと言わない)
- 部活動に係る費用が余計にかかる
- 習い事など他にやることによって、部活動に参加する時間的な余裕がない
- 勉強に集中させるために、時間的な余裕がない
- 学校部活動の活動時間が長く、活動日数が多すぎる
- 部活動でけが等をさせたくない
- 入れたい部活動がない
- 運動・文化活動は苦手、やらせたくない
- 入れたい部活動に友達がいらない
- 学校以外のスポーツ・文化クラブに所属させるつもりだから
- 子供が運動や文化活動が苦手、やらせたくない
- 入りたい部活動に友達がいらないから
- 特に理由はない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問6へ進む

設問6. その他、部活動に入部させるつもりがない理由があれば、ご記入ください。

設問7. 休日の学校部活動を段階的に地域移行(地域クラブ活動へ移行)について、国や神戸市において検討を進めていますが、このことを知っていますか。

- 知っている
- 少し知っている
- 知らない

設問8. 休日の中学校部活動は、学校の先生ではなく、地域の指導者が指導する地域クラブ活動に変わる予定ですが、このような活動にお子様を参加させたいですか。

- 参加させたい ⇒ 設問11へ進む
- 参加させたくない ⇒ 設問9へ進む
- わからない ⇒ 設問9へ進む

設問9. (設問8で「参加させたくない」「わからない」と答えた方のみ回答)

設問8での回答の理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 指導者が学校の先生でなくなる
- 指導者への謝金など、保護者の負担が増える
- 練習や試合などの送迎をしなければならなくなる
- 子供がやりたい活動や種目が居住地の近くでできるかわからない
- 子供がやりたい活動や種目があるかわからない
- 今入っているクラブチームや習い事を続ける予定
- その他 ⇒ 記述式回答 設問10へ進む

設問10. その他、地域クラブ活動に参加させたくない理由があれば、ご記入ください。

設問 11. 休日の学校部活動が段階的に地域移行(地域クラブ活動へ移行)することが検討していますが、このことに対する期待について、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。

- 活動の選択肢が増える。
(例えば、平日と別の活動を選択することができる。)
- 学校部活動では選択できなかった活動を選択できる。
- 専門性の高い指導が受けることができる。
- 同じ学校以外の人や年齢が違う世代の人との交流が増える
- 自分に合った活動を選択することができる。
(楽しむことに重視する活動やレクリエーション的な活動もできる)
- 教員の負担が減り、学習指導等が充実する
- 期待することはない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 12 へ進む

設問 12. その他、期待することがあれば、ご記入ください。

設問 13. 現在、検討している休日の活動について、地域移行後の活動(地域クラブ活動)に、お子様を参加させる場合、心配されることをすべて選んでください。

- 子供の活動費等の経済的負担
- 保護者の送迎や配車、応援等
- 地域に移行された活動への運営協力(鍵当番や見守りなどへの協力)
- 異なる中学校の生徒との人間関係
- 平日と休日で指導者が変わり、指導内容が違ったりしないか
- 希望する活動や種目が、住んでいる地域で(又は近くで)活動できるか
- 休日の活動として選択肢が増えて悩む(クラブチーム、総合型地域スポーツクラブ等)
- 指導者との連絡方法
- けがや体調不良等の緊急事態が起こった際の対応
- 生徒間でトラブルが起こった際の対応
- 指導者による暴言等の不適切な指導やハラスメント等が起きた時の対応
- 大会に出場する際に、誰が申込や登録等をするのか
- 特に心配することはない
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 14 へ進む

設問 14. その他、心配されることがあれば、ご記入ください。

設問 15. 休日の学校部活動が地域クラブ活動に移行された場合、指導者として関わりたいですか。

- 関わりたい
- 関わりたいくない
- どちらともいえない

設問 16. 休日の学校部活動が地域クラブ活動に移行された場合、指導者への謝金や施設利用料、活動場所までの交通費等の費用負担が必要となります。

月4回程度の活動として考えた場合(まずは、休日のみの活動であり、ガイドラインを厳守した活動とするため)、どれ位の負担が適切と考えますか。費用範囲をご回答ください。

- 1,000円/月 以内(250円/1回 以内)
- 1,000円~2,000円/月 以内(250円~500円/1回 以内)
- 2,000円~3,000円/月 以内(500円~750円/1回 以内)
- 3,000円~4,000円/月 以内(750円~1,000円/1回 以内)
- 5,000円/月 以内(1,250円/1回 以内)
- 5,000円/月 (1,250円/1回)を超えても負担する
- 活動内容や指導者の有資格などから判断したい
- 保護者の負担が生じるなら参加させない

設問 17. 現在、お子様の習い事（学習塾、スポーツクラブ、書道・ピアノなどの文化活動など）にかけている1か月の総費用はいくらですか。

- 5,000円/月 以内
- 5,000円～10,000円/月 以内
- 10,000円～20,000円/月 以内
- 20,000円～30,000円/月 以内
- 30,000円～40,000円/月 以内
- 40,000円～50,000円/月 以内
- 50,000円/月 以上
- 習い事はしていない

【管理職用】 これからの部活動に関するアンケート (案)

部活動は、参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術等を通じて、学習とは異なる集団での経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきましたが、全国的に少子化が進行し、本市でも学校単位の部活動の維持が困難になったり、競技・指導経験のない教員が部活動を指導せざるを得ないことで、生徒の多様なニーズに応じた指導が難しくなっています。

現在、国において、休日における中学校部活動を段階的に地域移行（地域クラブ活動へ移行）する方針が示されており、中学校部活動の仕組みが大きく変わろうとしています。

そこで、これからの部活動について、学校管理職の皆様からご意見をいただくため、アンケートを実施させていただきます。率直なご意見をお聞かせください。

設問 1. あなたの所属を選んでください。

- 小学校
- 中学校
- 義務教育学校
- 特別支援学校

設問 2. あなたの役職を選んでください。

- 校長（副校長（准校長）を含む）
- 教頭

設問 3. 休日の学校部活動について、あなたの考えに近いものはどれですか。

- 休日の部活動は必要である ⇒ 設問 4 へ進む
- 休日の部活動は必要ではない ⇒ 設問 5 へ進む
- 大会前・コンクール前だけでよい ⇒ 設問 6 へ進む

設問 4. (設問 3. で「必要である」と答えた方のみ回答)

設問 3 で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 体力や技術を向上させるためには、平日の活動だけでは足りない。
- 大会やコンクールでよい成績を残すためには、平日の活動だけでは足りない。
- 生徒の健全育成には部活動は不可欠である
- 進路に役立たせたい
- 特に理由はない。
- その他

※ ⇒ 設問 6 へ進む

設問 5. (設問 3. で「必要ではない」と答えた方のみ回答)

設問 3 で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべてを選んでください。

- 生徒の心身の健全育成のためには、休養日が必要である
- 生徒のやりたいこと(部活動以外の勉強、趣味、平日とは異なる活動等)に時間を使わせたい。
- 平日の活動だけで十分だから
- 地域や家庭で過ごす時間が必要
- 特に理由はない
- その他

設問 6. 中学校部活動の意義として、あなたの考えに近いものをすべてを選んでください。

- 種目や活動そのものを楽しむことができる
- 学校生活を楽しく豊かなものにすることができる
- チームワークや協調性を身につけることができる
- あいさつや礼儀等の社会性を身につけることができる
- 規則正しい生活習慣を身につけることができる

(選択肢つづく)

- 忍耐力を身につけることができる
- 体力や技術を向上させてほしい
- 交友範囲が広がり、人間関係の幅が広がる
- その他 ⇒ 設問 7 へ進む

設問 7. その他、中学校の部活動の意義があれば、ご記入ください。

設問 8. 貴校の部活動再編(適正な部活動数)について、あてはまるものを選んでください。

- 早急に検討する必要性を感じる
- 現状維持でよい
- どちらでもよい
- 部活動がない(少ない)ので、わからない

設問 9. 中学校等における平日の学校部活動における教員の関わり方として、あなたの考えに近いものを選んでください。

- 教員は、平日の学校部活動の顧問(副顧問)として関わるべきだ
- 教員は、平日の学校部活動の顧問(副顧問)として関わってもらいたい
- 平日の学校部活動も早く地域移行し、学校や教員から切り離してほしい
- その他 ⇒ 設問 10 へ進む

設問 10. その他、平日の学校部活動における教員の関わり方についてご記入ください。

設問 11. 地域クラブ活動への教員の関わり方として、あなたの考えに近いものを選んでください。

- 休日の地域クラブ活動での指導は、希望する教職員が兼職兼業制度を活用し、携わることに賛成である
- 地域クラブ活動での指導は、やりたい教職員が兼職兼業制度を活用し、携わることに賛成ではあるが、本来の業務(学習指導等)に支障が出ないように、一定の制限が必要と感じる
- その他 ⇒ 設問 12 へ進む

設問 12. その他、休日の地域クラブ活動における教員の関わり方についてご記入ください。

設問 13. 地域クラブ活動への移行後に懸念される【教職員の働き方について】あなたの考えに近いものをすべてを選んでください。

- 地域クラブ活動に対する指導を希望する教職員の兼職兼業のあり方
- 大会引率や運営に係る教職員の負担
- 中学校等の教師の採用選考・人事配置等について
- 休日部活動が地域に移行される達成時期
- 特になし

設問 14. 地域クラブ活動への移行後に懸念される【地域クラブ活動への移行実現について】あなたの考えに近いものをすべてを選んでください。

- 「受け皿」となり得る地域におけるスポーツ団体等の確保 移行するにあたって
- 生徒のニーズに合う地域クラブ活動が設置できるか
- 保護者の経済的負担が大きくなること(適正な額の会費の在り方)
- 地域クラブ活動に要する費用の徴収方法
- 経済的に困窮する家庭の生徒への支援 (選択肢つづく)

- 保険の在り方(災害共済給付制度との補償内容の比較)
- 指導者の質の保障・量の確保
- 地域のスポーツ団体等との連携・協働
- 特になし

設問 15. 地域クラブ活動への移行後に懸念される【役割や分担、責任について】あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 練習や試合に参加する際の引率
- 学校施設を利用することになるため、利用ルールの改善や団体間での調整
- 学校施設の利用・管理の在り方
- 学校施設を使用する際の備品や消耗品等の貸し出し、管理
- 生徒の安全の確保
- 事故やケガが発生した際の責任の所在
- 生徒間のトラブル等への対処
- 緊急時(けがや体調不良発生時等)の対応(保護者への連絡)
- 地域クラブ活動に移行における出欠席等に関する連絡方法
- 平日に行われている学校部活動の顧問教員や部活動指導員との連携
- 特になし

設問 16. 地域クラブ活動への移行後に懸念される【地域クラブ活動のあり方について】あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 勝利至上主義が過熱化しないか
- 指導者の暴言・暴力、行き過ぎた指導、ハラスメントなどの行為
- ガイドラインを守らなくなるのではないか(活動日数や時間等)
- 複数の活動を経験できる運営体制(シーズン制の導入、活動日数や活動時間の見直し)
- 今後の大会の在り方
- 高校入試における部活動の扱いについて
- 地域移行の取組が進められている間の学校における部活動の在り方について
- 特になし

設問 17. その他(設問 13~16 以外で)、懸念されることがあれば、ご記入ください。

設問 18. 休日の学校部活動を段階的に地域クラブ活動に移行することに対して、期待することは何ですか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 中学校部活動にはなかった種目や活動に親しめる機会が充実する
(例えば、スケートボードやストリートダンス等のアーバンスポーツ等)
- 活動の選択肢が増える(例えば、平日と別の活動を選択することができる)
- 生徒自身が、個々の目的(ニーズ)にあった活動を選択することができる
(楽しむことを重視する活動やレクリエーション的な活動もできる)
- より専門性の高い指導が受けられるようになる
- シーズン制等を導入することで複数の種目や活動を経験できる
(例:水泳とサッカー、バレーボールと美術など)
- 休日や長期休暇中などに開催されるスポーツの体験教室や体験型キャンプのような活動を経験できる
- 同じ学校以外の人や年齢が違う世代の人との交流が増える
- 異動や退職の影響を受けにくく、継続的に指導ができる人材を確保できる
- 教職員が地域クラブ活動の指導を希望した場合、兼職兼業が認められる
- 教職員の負担が軽減される
- 特に期待することはない
- その他 ⇒ 設問 19. へ

設問 19. その他、期待することがあれば、ご記入ください。

○ _____

設問 20. 移行後、あなたは地域クラブ活動での指導を希望しますか。

- 活動経験や指導経験のある活動なら希望する
- 活動経験や指導経験のない活動でも希望する
- 活動経験や指導経験に関係なく、希望しない

【教職員用】 これからの部活動に関するアンケート (案)

部活動は、参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術等を通じて、学習とは異なる集団での経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきました。また、これらは先生方の熱心なご指導により支えられてきたことに感謝いたします。一方で、全国的に少子化が進行し、本市でも学校単位の部活動の維持が困難になったり、競技・指導経験のない教員が部活動を指導せざるを得ないことで、生徒の多様なニーズに応じた指導が難しくなっています。

現在、国において、休日における中学校部活動を段階的に地域移行（地域クラブ活動へ移行）する方針が示されており、中学校部活動の仕組みが大きく変わろうとしています。

神戸市では、「部活動の地域移行のあり方検討委員会」で、生徒にとってよりよい活動環境を構築できるように検討を進めています。ついては、部活動に関するアンケートを実施し、先生方の声を聞かせていただきたいと考えています。今後の検討に当たっての重要なご意見とさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

設問 1. あなたの所属をお答えください。

- 小学校
- 中学校
- 義務教育学校
- 特別支援学校

設問 2. あなたの年齢を選んでください。

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

設問 3. あなたの役職を選んでください。

- 主幹教諭
- 教諭
- 養護教諭
- 栄養教諭
- 事務職員
- 再任用教員
- 常勤講師
- 非常勤講師
- 会計年度任用職員
- その他

設問 4. 現在、あなたは部活動の顧問(指導)をしていますか。

- はい
- いいえ ⇒ 設問 6 へ

設問 5. (設問 4 で「はい」と答えた方のみ回答) 現在、あなたが担当している部活動をすべてを選んでください。

- 活動経験のある運動部を担当している
- 活動経験のある文化部を担当している
- 活動経験のない運動部を担当している
- 活動経験のない文化部を担当している
- 部活動は担当していない

設問 6. 休日の学校部活動について、あなたの考えに近いものはどれですか。

- 休日の部活動は必要である ⇒ 設問 7 へ進む
- 休日の部活動は必要ではない ⇒ 設問 8 へ進む
- 大会前・コンクール前だけでよい ⇒ 設問 9 へ進む

設問 7. (設問 6 で「必要である」と答えた方のみ回答)

設問 3 で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべて選んでください。

- 体力や技術を向上させるためには、平日の活動だけでは足りない。
- 大会やコンクールでよい成績を残すためには、平日の活動だけでは足りない。
- 生徒の健全育成には部活動は不可欠である
- 進路に役立たせたい
- 特に理由はない。
- その他

※ ⇒ 設問 9 へ進む

設問 8. (設問 6 で「必要ではない」と答えた方のみ回答)

設問 3 で回答した理由について、あなたの考えにあてはまるものをすべて選んでください。

- 生徒の心身の健全育成のためには、休養日が必要である
- 生徒のやりたいこと(部活動以外の勉強、趣味、平日とは異なる活動等)に時間を使わせたい。
- 平日の活動だけで十分だから
- 地域や家庭で過ごす時間が必要
- 特に理由はない
- その他

設問 9. 中学校部活動の意義として、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 種目や活動そのものを楽しむことができる
- 学校生活を楽しく豊かなものにすることができる
- チームワークや協調性を身につけることができる
- あいさつや礼儀等の社会性を身につけることができる
- 規則正しい生活習慣を身につけることができる
- 忍耐力を身につけることができる
- 体力や技術を向上させてほしい
- 交友範囲が広がり、人間関係の幅が広がる
- その他 ⇒ 設問 10 へ進む

設問 10. その他、中学校の部活動の意義があれば、ご記入ください。

設問 11. 貴校の部活動再編(適正な部活動数)について、あてはまるものを選んでください。

- 早急に検討する必要性を感じる
- 現状維持でよい
- どちらでもよい
- 部活動がない(少ない)ので、わからない

設問 12. 休日の学校部活動を段階的に地域移行(地域クラブ活動へ移行)について、国や神戸市において検討を進めていますが、このことを知っていますか。

- 知っている
- 少し知っている
- 知らない

設問 13. 地域クラブ活動への移行後に懸念されることは何ですか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 「受け皿」となり得る地域におけるスポーツ団体等の確保
- 生徒のニーズに合う地域クラブ活動が設置できるか
- 保護者の経済的負担が大きくなること(適正な額の会費の在り方)
- 地域クラブ活動に要する費用の徴収方法
- 経済的に困窮する家庭の生徒への支援
- 保険の在り方(災害共済給付制度との補償内容の比較)
- 指導者の質の保障・量の確保
- 地域のスポーツ団体等との連携・協働
- 特になし
- 生徒指導について
- 学校施設開放に係る管理
- 大会運営
- 地域クラブ活動への協力を依頼されること
- 地域クラブ活動の指導員として関わる際、勤務地で関わるのか居住地で関わるのか
- その他 ⇒ 記述式回答 設問 14 へ進む

設問 14. その他、懸念されることがあれば、ご記入ください。

設問 15. 地域クラブ活動への移行後に期待することは何ですか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

- 中学校部活動にはなかった種目や活動に親しめる機会が充実する
(例えば、スケートボードやストリートダンス等のアーバンスポーツ等)
- 活動の選択肢が増える(例えば、平日と別の活動を選択することができる)
- 生徒自身が、個々の目的(ニーズ)にあった活動を選択することができる
(楽しむことを重視する活動やレクリエーション的な活動もできる)
- より専門性の高い指導が受けられるようになる
- シーズン制等を導入することで複数の種目や活動を経験できる
(例：水泳とサッカー、バレーボールと美術など)
- 休日や長期休暇中などに開催されるスポーツの体験教室や体験型キャンプのような活動を経験できる
- 同じ学校以外の人や年齢が違う世代の人との交流が増える
- 異動や退職の影響を受けにくく、継続的に指導ができる人材を確保できる
- 教職員が地域クラブ活動の指導を希望した場合、兼職兼業が認められる
- 教職員の負担が軽減される
- 特に期待することはない
- その他 ⇒ 設問 16 へ進む

設問 16. その他、期待することがあれば、ご記入ください。

設問 17. 地域クラブ活動への移行後の関わり方として、あなたの考えに近いものを選んでください。

- 兼職兼業等の制度を活用して、積極的に地域クラブ活動に関わりたい
- できる範囲で地域クラブ活動に関わってもよい
- 地域クラブ活動にはできれば関わりたくない
- 地域クラブ活動には関わらない

設問 18. 地域クラブ活動への移行後、指導を希望しますか。

- 活動経験や指導経験のある活動なら希望する ⇒ 設問 19 へ進む
- 活動経験や指導経験のない活動でも希望する ⇒ 設問 19 へ進む
- 活動経験や指導経験に関係なく、希望しない

設問 19. 指導を希望する活動としてあてはまるものをすべて選んでください。

(スポーツ)

- | | | | |
|----------------------------|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 陸上競技 | <input type="radio"/> 水泳競技 | <input type="radio"/> 体操競技 | <input type="radio"/> ソフトテニス |
| <input type="radio"/> 卓球 | <input type="radio"/> バasketボール | <input type="radio"/> バレーボール | <input type="radio"/> ハンドボール |
| <input type="radio"/> 軟式野球 | <input type="radio"/> 相撲 | <input type="radio"/> サッカー | <input type="radio"/> 柔道 |
| <input type="radio"/> 剣道 | <input type="radio"/> ソフトボール | <input type="radio"/> バドミントン | <input type="radio"/> 硬式テニス |

(文化芸術活動)

- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> 合唱 | <input type="radio"/> 吹奏楽 | <input type="radio"/> 茶道 | <input type="radio"/> 華道 |
| <input type="radio"/> 書道 | <input type="radio"/> 美術・芸術 | <input type="radio"/> 総合文化・創芸 | <input type="radio"/> 放送 |
| <input type="radio"/> 家庭・生活 | <input type="radio"/> E S S ・英語 | <input type="radio"/> コンピュータ | <input type="radio"/> 情報技術・情報科学 |
| <input type="radio"/> 理科・科学・生物 | <input type="radio"/> 技術・工芸・ものづくり | <input type="radio"/> 演劇 | <input type="radio"/> その他 |

設問 20. 現在の中学校等で設置されている部活動の種目や活動に限らず、地域で盛んなスポーツや文化活動など、指導してみたい活動はありますか。

- ある ⇒ 設問 21 へ進む
- ない

設問 21. 具体的にどのような種目や活動をしてみたいですか。

- _____